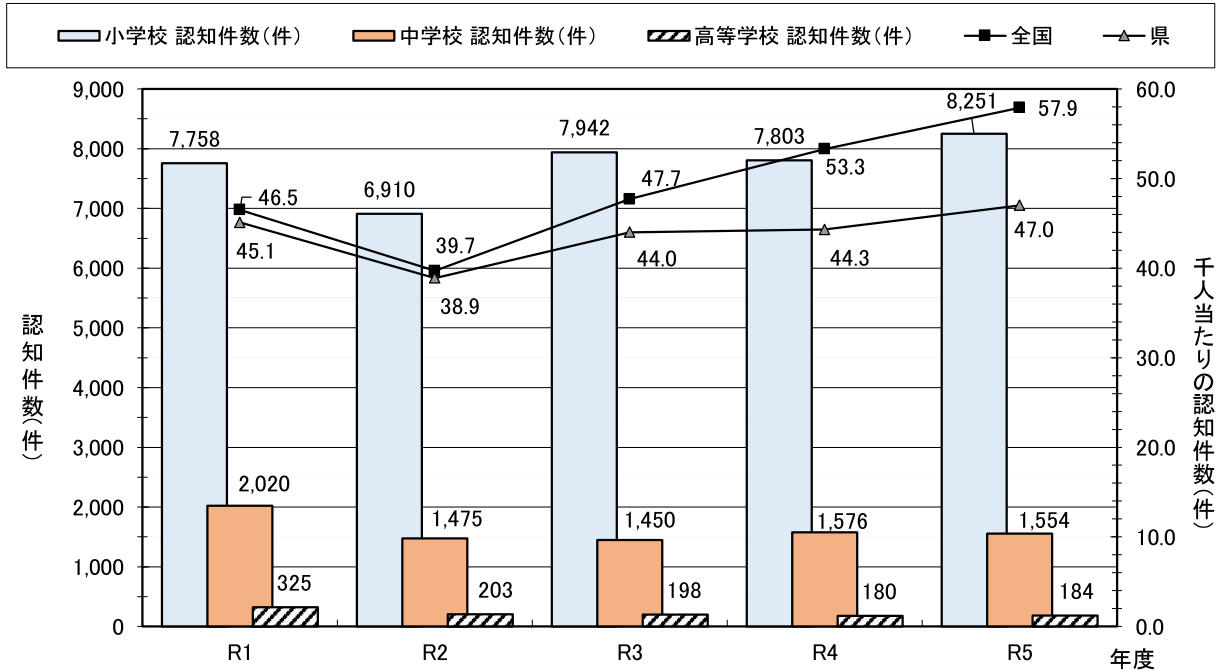


- 小・中・高等学校及び特別支援学校におけるいじめの認知件数は、10,067件（前年度9,603件）であり、前年度より464件増加。1,000人当たりの認知件数は47.0件である。
- 学校種別では、小学校、高等学校、特別支援学校の認知件数が増加し、中学校では減少。増加の背景には、様々な活動が再開され接触機会が増加したこと、法の定義に基づいて些細な事象も積極的に認知したこと等が考えられ、減少の背景には児童生徒に目を配り予防的な支援・指導を行ったこと等が考えられる。

1 校種別認知件数及び1,000人当たりの認知件数の推移



(単位：件)

年度		R1	R2	R3	R4	R5	
小学校	認知件数	7,758	6,910	7,942	7,803	8,251	
	前年度増減	1,155	▲ 848	1,032	▲ 139	448	
中学校	認知件数	2,020	1,475	1,450	1,576	1,554	
	前年度増減	▲ 146	▲ 545	▲ 25	126	▲ 22	
高等学校	認知件数	325	203	198	180	184	
	前年度増減	▲ 26	▲ 122	▲ 5	▲ 18	4	
特別支援学校	認知件数	95	50	78	44	78	
	前年度増減	9	▲ 45	28	▲ 34	34	
合計	認知件数	10,198	8,638	9,668	9,603	10,067	
	前年度増減	992	▲ 1,560	1,030	▲ 65	464	
	1,000人当たりの認知件数	県	45.1	38.9	44.0	44.3	47.0
		全国	46.5	39.7	47.7	53.3	57.9

(注)調査対象校：県内国公立小中高(通信制含む)特別支援学校 709校

2 いじめ発見のきっかけ

[単位：件、%]

区 分		令和5年度			令和4年度		
		計	構成比		計	構成比	
			県	全国		県	全国
学校の教職員等が発見		5,554	55.2	62.5	5,553	57.8	63.8
内 訳	学級担任が発見	1,684	16.7	9.2	1,690	17.6	9.6
	学級担任以外の教職員が発見	243	2.4	2.6	243	2.5	2.4
	養護教諭が発見	43	0.4	0.3	63	0.7	0.3
	スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	19	0.2	0.2	19	0.2	0.1
	アンケート調査などの学校の取組により発見	3,565	35.4	50.3	3,538	36.8	51.4
学校の教職員以外からの情報による発見		4,513	44.8	37.5	4,050	42.2	36.2
内 訳	本人からの訴え	2,616	26.0	19.4	2,352	24.5	19.2
	本人の保護者からの訴え	1,222	12.1	12.8	1,102	11.5	11.8
	他の児童生徒からの情報	472	4.7	3.7	409	4.3	3.6
	他の保護者からの情報	179	1.8	1.3	152	1.6	1.3
	地域の住民からの情報	6	0.1	0.1	11	0.1	0.1
	学校以外の関係機関からの情報	14	0.1	0.2	21	0.2	0.1
	その他（匿名による投書など）	4	0.0	0.1	3	0.1	0.1
計		10,067	100.0	100.0	9,603	100.0	100.0

(注) 構成比については、各区分における「いじめ認知件数の総数」に対する割合を示す。

3 いじめの態様（複数回答）

[単位：件、%]

区分	小学校	中学校	高等学校	特別 支援学校	計	構成比	
						県	全国
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	4,638	1,043	106	30	5,817	57.8	58.7
仲間はずれ、集団による無視をされる	1,176	152	11	8	1,347	13.4	11.8
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	2,098	218	14	6	2,336	23.2	22.4
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする	549	57	7	2	615	6.1	6.4
金品をたかられる	58	14	5	0	77	0.8	1.0
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	499	123	13	6	641	6.4	5.3
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたりさせられたりする	472	127	13	7	619	6.1	10.5
パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる	81	107	28	9	225	2.2	3.4
その他	341	44	18	13	416	4.1	4.0
計	9,912	1,885	215	81	12,093		

(注) 構成比は、各区分における「いじめ認知件数の総数」に対する割合を示す。

4 いじめの解消の状況

[単位：件、%]

区分	件数	構成比	
		長野県	全国
解消済み ※1	8,382	83.3	77.5
取組中	1,667	16.6	22.4
その他 ※2	18	0.2	0.2
計	10,067	100.0	100.0

※1: 解消済み(下記2項目を満たして解消となる)

① 被害者に対する心理的または物理的な影響を与える行為が止んでいる状態が少なくとも3か月継続。

② 被害児童生徒本人及びその保護者に対する面談等により、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないことが認識できる。

※2: 就学校の指定変更、転学や退学等で一定の人間関係が解消等

5 いじめ重大事態

[単位：件]

区分	長野県	全国
発生学校数	5	1,185
発生件数	6	1,306
1号重大事態	3	648
2号重大事態	4	864
1,000人当たりの発生件数	0.03	0.10

(注) 調査対象校：国公立小中高(通信含)特別支援学校 709校

・第1号重大事態とは、「いじめ」により当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。

・第2号重大事態とは、「いじめ」により当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

・1件の「重大事態」が、第1号及び第2号の両方に該当する場合は、それぞれの項目に計上されている。